

花一会図書館便り

2・3月号（令和4年3月1日発行）

【TEL&FAX】

0186-57-6085

【MAIL】

hanaichie@voice.ocn.ne.jp

花一会ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter

第4回

「郷土探索への道 黒沢温泉編④」

ついに現地へ！黒沢温泉の現在は。

「郷土探索への道 黒沢温泉編」第4回は、黒沢温泉とその周辺の現在はどのようになっているのかをお伝えします。

2021年5月某日、黒沢温泉に近い蘭越町字日出在住で黒沢氏とも交友のあった野口信子さんに案内をお願いし、現地を訪れました。昆布駅から車で約15分、まず黒沢温泉跡近くにある字日出の薬師温泉跡地へ向かい、そこから徒歩での探索です。薬師温泉は、温泉に含まれている泡により体の内部まで温められる気泡泉で名湯として知られていましたが、8年前の2014年5月30日、創業60年の歴史を閉じています。

現在は建物もなく、一面雑草に覆われ、撤去されずに残っている建物の基礎か浴槽壁に使われていたであろうコンクリート塊にかろうじて温泉宿の痕跡をとどめていました。湧出している水を触ってみるとほんのり温かく、かすかな硫黄臭に温泉の名残を感じました。



薬師温泉 跡地



薬師神社 鳥居



薬師神社 本殿

薬師温泉跡地から道なりに奥へ約100mほど進むと薬師神社の鳥居が立っていました（写真左上）。鳥居からは真っすぐな参道が奥に向かって続き、その先の小高い丘の上に薬師神社の本殿、小さな社がありました（写真左下）。毎年5月と8月に神職が礼拝に来られるということで訪れたときは管理を任されている氏子の方々によって参道の法面の雑草がきれいに刈り取られ、社の周囲も清掃が行き届いていて、温泉がなくなった今もなお大切に守り継がれている様子が窺えました。

薬師神社本殿まで参道を上ると社がある丘の手前から右奥の方へやや下りながら続く道があり、その道なりに進んだ先に目指す黒沢温泉の跡地がありました。次号ではついに黒沢温泉の跡地がどのようになっているのかをお伝えします。

参考：『新蘭越町史』（蘭越町史編集委員会 編）

次回、郷土探索への道 黒沢温泉編⑤

「ついに現地へ！黒沢温泉の現在は。②」

どうぞ期待！！

今月のおすすめ本 コーナー



『逃げる女』

青木俊 著 (小学館)

ありきたりな殺人事件で身柄の確保は時間の問題だったはず。しかし容疑者の女は巧みに追跡を躲し逃避行を続ける。やがて明らかになる真の巨悪とは。追われる側にも追う側にもそれぞれの正義があり、物語の疾走感と相まって一気読み必至。

(蘭越町 笠井三葉留)



『父がひとりで死んでいた 離れて暮らす親のために今できること』

如月サラ 著 (日経 BP)

50代の著者が父の孤独死に直面することから始まるエッセイ集。母は認知症で入院中。著者はひとりっ子。親の介護はもっとゆるやかに訪れるものだ

父が亡くなり母は施設へ…残るは無人の一軒家と維持費問題
シングル、一人っ子、フリーランス、でも父が死んだ後4冊もどうする？
仕事との両立は、これからどうなる？

ネットで8万人が共感！

とっていた、父の死を悲しむ自分が許せない…他人事にはできない現実がここにある。



『かぐや姫、物語を書きかえる』

雀野日名子 著 (河出書房新社)

物語の神は竹取物語を男が中心としたものに書き換えてしまおう。「さよ」と「ごう」はそんな神に反旗を翻し古今の名作の中

に転生を繰り返しながら、ついに神の企みを阻止したかに見えたが…ジェンダーを巡る戦いはなお果てしなく続くのだ。

(蘭越町 笠井三葉留)



『山賊ダイアリー全7巻』

岡本健太郎 著 (講談社)

現役猟師が描く狩猟&ジビエ喰い実録マンガ。東京から故郷・岡山へ戻り狩猟生活。カモ、ヒヨドリ、ウサギ、マムシ…射止めた獲物は何でも食べる！

狩猟免許の取得法やジビエ料理についても詳しいので興味のある方は入門書としてもおすすめ。

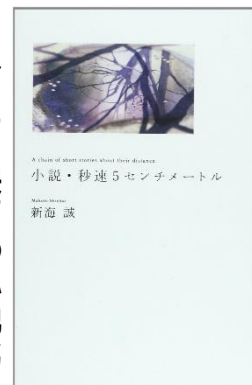
K-POP アイドルたちが読んだ本



『82年生まれ、キム・ジヨン』
キム・ナムジュ(筑摩書房)



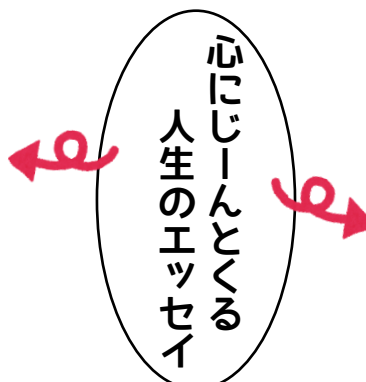
『世界でいちばん弱い妖怪』
キム・ドンシク(小学館)



『小説・秒速5センチメートル』
新海誠(メディアファクトリー)



『私は私のままで生きることにした』
キム・スヒョン(ワニブックス)



『あやうく一生懸命 生きるそこだった』
ハワンダイヤモンド社